

第2回
和き・合い・愛
チャレンジキャンプ

対象：知的障がいのある高等部1年生から3年生
日時：8月4日(金)から6日(日)

自然体験活動や社会体験活動を通して、知的障がいのある児童・生徒の主体性・自立性・社会性を育みます。特に、高等部の生徒については、卒業後の進路を見据えた活動を行います。また、保護者や教員を対象に、進路や将来の生活に必要な情報を得たり、参加者同士で情報交換を行ったりする機会を提供します。

プログラム

8月4日

12:30	13:30	15:00	16:30	18:00	19:30	20:00	21:00
はじまりの会	就労体験 (アップルファーム)	買物体験	夕食作り	会食	入浴	余暇活動	就寝準備 就寝

8月5日

7:30	9:00	11:00	14:00	17:00	19:30	20:00	21:00
朝食作り	五灯館大学校に向けての準備・出発	昼食買物 会食	五灯館 実習	夕食づくり	入浴	余暇活動	就寝準備 就寝

8月6日

7:30	9:00	11:30
朝食作り	生活体験 キャンプふり返り	おわりの会

就労体験
(アップルファーム)



参加した生徒は皆、とても落ち着いた様子で事業に参加していました。アップルファームの就労体験では、椎茸採取から袋詰めに至る工程を体験させてもらい、県内の新生児を持つ親御さんに向けて送られる「はじめてばこ」の内容についても教えてもらいました。参加者はどの活動も真摯に取り組んでおり、説明をしてくれたアップルファームの職員の方の話を真剣に聞く姿がとても印象的でした。

買物体験
夕食作り



今回の事業では2日目の昼食以外はすべて自分たちで作りました。朝食は手軽で簡単に作れて、洗い物も少なく済むものにし、夕食はしっかりと栄養が取れるものを作りました。参加者は就労体験や五灯館大学校の実習体験後であっても、積極的に調理を行っていました。調理が苦手な参加者も片付けや皿の準備など、ボランティアのサポートを受けながらも、自分のやるべきことを見つけて、活動することができていました。

バスの乗り方 練習



2日目に五灯館大学校へ実習に向かいました。五灯館大学校に向かう前に、バスの乗り方について研修室でシミュレーションを行いました。乗り方や降りる際の注意点、料金の支払い方など1人ずつ練習をしました。練習の成果もあり、バスには問題なく乗車できており、さらに他の同乗者に席を譲ったり、車内では静かに過ごすなど、他の人たちへ配慮する姿も多く見られました。

五灯館大学校 実習



五灯館大学校では、基礎課程と専門課程の2つを実習させてもらいました。基礎課程では、コミュニケーション能力を高めるレクリエーションとして、「すごろく作り」「ペーパータワー」を行いました。専門課程では、社会人としてのマナー講座を実例を交えて、講義形式で学習しました。ここまで、参加者同士の交流はそれほどなかったため、少し緊張気味で実習がはじまりましたが、基礎課程のレクリエーションを行うことで、自分の意見をしっかりとと言える参加者も出てくるようになり、さらにみんなで一つの考えをまとめるよう話し合うことができました。

参加者の声(保護者の聞き取りから)

○どれも楽しくいい体験だったようですが、その中でも一番印象に残っているのがアップルファームでの就労体験、しいたけの袋詰めだったようです。「お仕事をした！」と話してくれました。

○本人は生姜焼きを作ったことが1番思い出に残ったようです。油がはねて熱かったこと、おいしかったこと、料理は準備や手順などたくさんあるが面白かったと話してくれました。

○バスに乗って行ったことが一番の思い出のようです。ローカル線には乗る機会がないので、こんな機会をいただきうれしかったです。勉強にもなったと思います。

